

【今別町教育委員会】

校務DX計画

学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童・生徒と直接関わる時間や授業準備等、授業の質を向上させるための時間を確保し、教職員の働き方改革を進めるとともに、学校全体の指導力の向上につなげるため、クラウドツールの活用を前提とした校務DXを積極的に推進する。

1 校務系・学習系ネットワークの統合

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、学校・町情報管理担当・関係業者と連携を図りながら、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備（教職員用端末の一台化を含む）に向け進める。

2 汎用クラウドツールの活用

汎用クラウドツールを活用することで、学校との情報共有、教員間での情報伝達を迅速化、円滑化を図り、資料等のペーパーレス化により、印刷コストや配付にかかる手間を省き、業務改善を進めることで教職員の負担軽減が期待できる。

3 教育情報セキュリティポリシーの必要性

クラウド上のデータやサービスを活用することを前提とした、それに相応しいセキュリティレベルを確保する中で、児童生徒に関する様々な情報を活用していることを踏まえ、取り扱う情報の多様性、多目的性を考慮した情報セキュリティを講じていくことが重要であり、教育現場の現状に見合った情報セキュリティポリシーの策定を進める。